

第6回安芸高田市学校規模

適正化委員会会議

報告 資料 4

中間報告書

(委員案)

平成21年11月

安芸高田市学校規模適正化委員会

目次

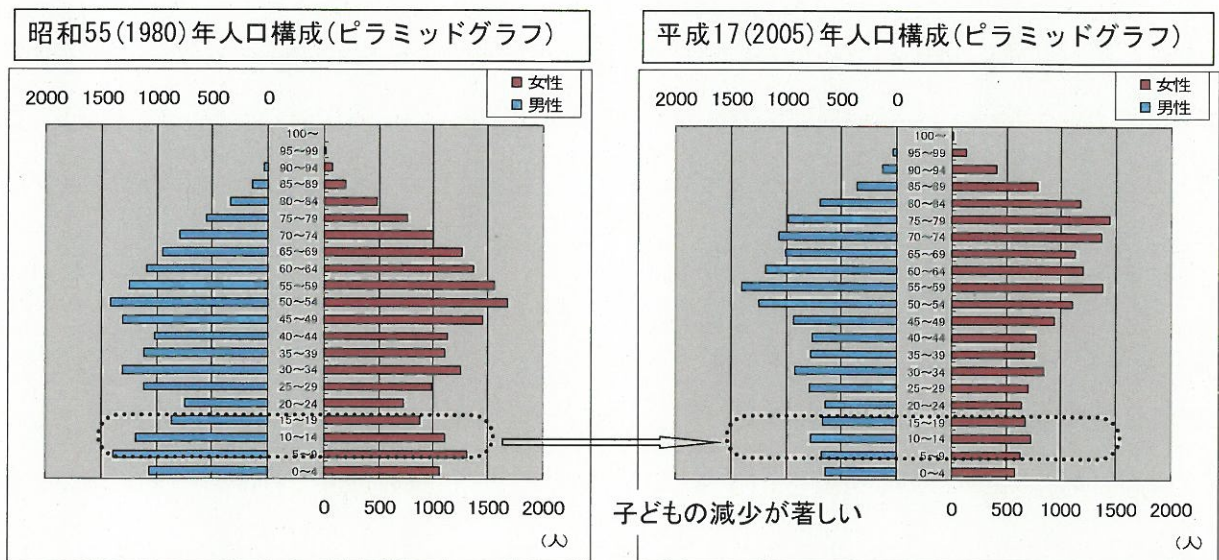
- 1 市立小・中学校児童生徒数の推移予測
- 2 1学級あたりの児童生徒数が少ないことの良い点と問題点
- 3 1学級あたりの児童生徒数が少ないことには問題が多いとした場合の対応
- 4 はたして1学級あたりの児童生徒数が少ないことは問題か
- 5 今後の方針

1 市立小・中学校児童生徒数の推移予測

ア 安芸高田市人口の現況と推移

安芸高田市における昭和55年から平成17年までの25年間の人口推移をみますと、総人口は、昭和55年の約37,000人から、平成17年には約33,100人に減少しています（減少率10.5%）。そして人口の減少に伴い小学校児童数は、昭和55年に3,020人であったものが平成17年には1,695人に減少しており（減少率43.9%）、中学校生徒数は、同じく1,291人が924人に減少（減少率28.4%）しています。

安芸高田市の人口減少率は、特に子どもたちが高く、少子化による子どもの減少が急激に進んでいます。



イ 市立小・中学校児童生徒数の現状

平成 21 年 5 月 1 日現在の安芸高田市立の各小・中学校の児童生徒数は、それぞれ下記の通りです。

大半の小・中学校は 1 学年 1 学級で編成されていますが、高宮町の川根小学校では全学年が、八千代町の刈田小学校では一部の学年が、それぞれ複式学級となっています。

○小学校の位置、児童数、普通学級数

○中学校の位置、生徒普通学級数

21年度児童数及び普通学級数（平成21年5月1日現在）



21年度生徒数及び普通学級数（平成21年5月1日現在）



ウ 平成27年までの、各学校別の児童生徒数の将来推計

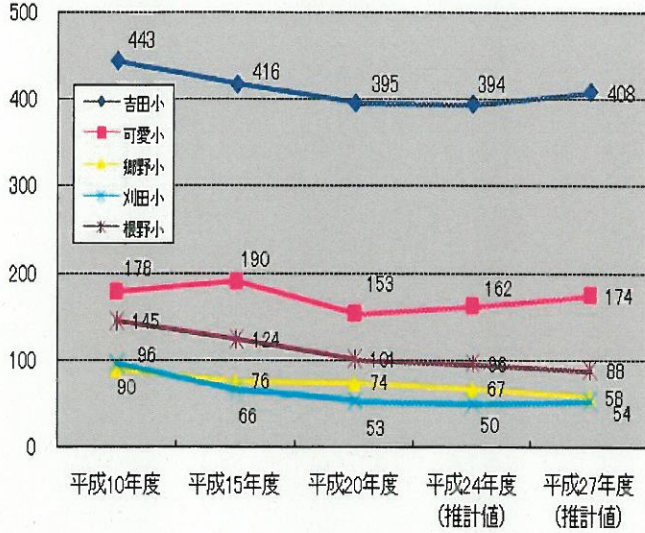
各小学校区別の、平成21年4月1日現在の、0歳から8歳までの未就学児童及び児童生徒の数は表1の通りです。3歳から8歳までの子どもは、平成24年度の小学1年生から6年生に相当し、0歳から8歳までの子どもは、平成27年度の小学1年生から中学3年生に相当します。

表 1

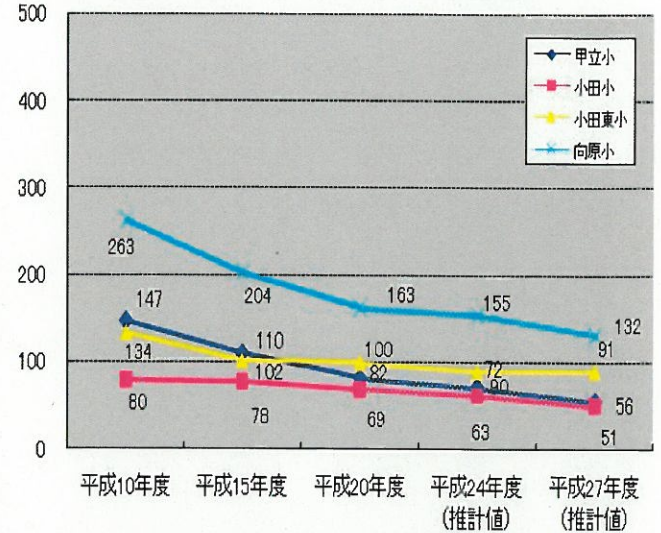
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 吉田小学校 | 67 | 66 | 74 | 68 | 67 | 66 | 64 | 81 | 48 |
| 可愛小学校 | 21 | 31 | 33 | 36 | 21 | 32 | 30 | 20 | 25 |
| 郷野小学校 | 7 | 4 | 12 | 12 | 9 | 14 | 11 | 10 | 11 |
| 刈田小学校 | 8 | 7 | 11 | 12 | 6 | 10 | 7 | 7 | 8 |
| 根野小学校 | 14 | 14 | 16 | 12 | 13 | 19 | 19 | 17 | 16 |
| 美土里小学校 | 21 | 20 | 20 | 27 | 23 | 24 | 25 | 23 | 26 |
| 川根小学校 | 7 | 0 | 2 | 6 | 6 | 6 | 3 | 4 | 2 |
| 来原小学校 | 7 | 8 | 9 | 13 | 14 | 12 | 9 | 11 | 11 |
| 船佐小学校 | 14 | 7 | 4 | 11 | 6 | 7 | 12 | 12 | 10 |
| 甲立小学校 | 11 | 8 | 5 | 10 | 9 | 13 | 17 | 11 | 12 |
| 小田小学校 | 6 | 8 | 5 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 | 10 |
| 小田東小学校 | 18 | 14 | 15 | 17 | 11 | 16 | 16 | 12 | 18 |
| 向原小学校 | 19 | 17 | 26 | 23 | 18 | 29 | 32 | 29 | 24 |

未就学児童が当該学校区の学校へそのまま入学し、進級するものと仮定すると、平成27年度までの各学校の生徒数は以下のように推移すると予想されます。

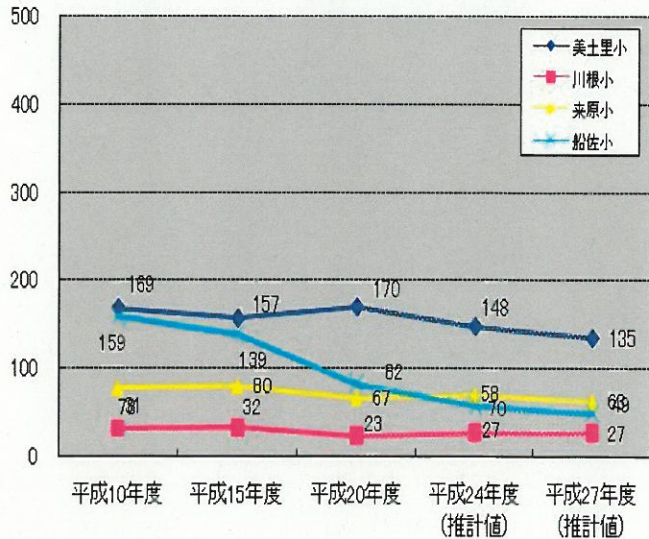
(人) 小学校児童数の現状・将来推計(吉田・八千代地区)



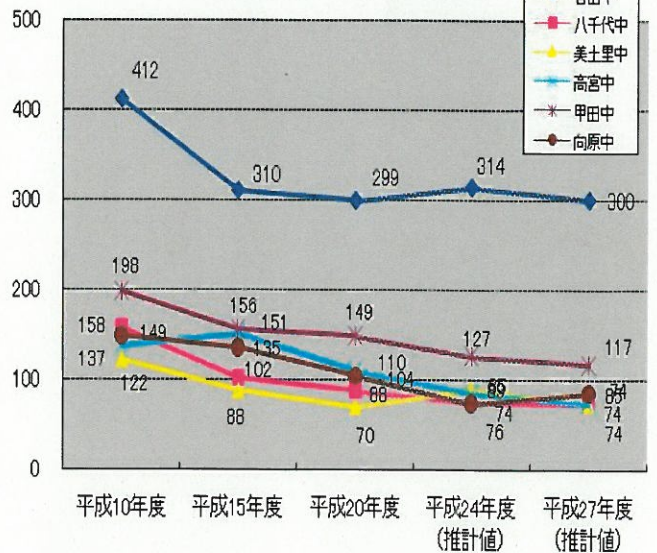
(人) 小学校児童数の現状・将来推計(甲田・向原地区)



(人) 小学校児童数の現状・将来推計(美土里・高宮地区)



(人) 中学校生徒数の現状・将来推計



エ 複式学級の生じる可能性

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の第3条第1項及び公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行令第1条によれば、小学校で複式学級を編成するのは、以下の場合です。

- ① 1年生の数とそれに引き続く学年の生徒の数の合計が8人以下の場合
- ② 1年生を含まない場合は、引き続く2つの学年の児童の数の合計数が16人以下である場合
(ただし、広島県教委では、2年と3年、4年と5年の複式学級は原則として認めていません)

これらの基準を表1にあてはめると、平成27年度には、川根小学校(全学年)、刈田小学校(5.6年生)、船佐小学校(3.4年生・5.6年生)、甲立小学校(3.4年生)、小田小学校(3.4年生)の5校において、複式学級が生じる可能性があります。

オ 学級規模の予測

また、必ずしも複式学級には至らなくても、平成27年度には、市内の多くの小学校において、各学年とも1学級となり、しかも学級ごとの児童生徒数が20名以下になると予想されます。

2 1学級あたりの児童生徒数が少ないことの良い点と問題点について委員会で出された意見

ア 1学級あたりの児童生徒数が少ない場合の良い点と問題点について、これまで出された意見を整理すると以下の通りです。

(1) 学習面

○ 良い点

- ・学習の中で一人ひとりが発表等活躍できる機会が多くなるために、個別の表現力、思考力がきたえられやすい。
- ・行動や活動がまとまりやすく機動性が高いため、多様な学習活動が仕組みやすい。

○ 問題点

- ・1学年1学級の場合、同一教科の教員の数が少なく習熟度別に分かれて授業することが難しく、学習効果を高めにくい。

(2) 社会面・生活面

○ 良い点

- ・給食・掃除当番などを通じて、上級学年が下級学年の手本となることから、上の学年が下の学年を指導する力が育まれる。
- ・地域とのふれあいや高齢者との手紙のやりとりなど、地域住民との交流を通じて幅広い年代の人々と関わりを持つことができ、生きる力が強くなると考えられる。
- ・地域との交流が多くなり、地域に誇りをもった子ども、ふるさとを大切にできる子どもに育つことが考えられる。

○ 問題点

- ・同年代の友達が少ないことで限られた人間関係となってしまう、特定の集団が形成された場合、その集団に入りにくい児童が孤立しかねない。
- ・入学から卒業まで同じ集団の中で、児童生徒の役割や位置づけが固定化しやすい。
- ・男女比の偏りが時として大きくなることもあり、その場合同性同士の友だち関係が形成されにくく、淋しい思いをすることがある。
- ・高等学校へ進学して学級の規模が大きくなると、気持ちが委縮してしまう生徒が生じる可能性がある。

(3) 課外活動など

○ 良い点

- ・地域と連携した学校づくりの取り組みにより、特色のある学校となる。

○ 問題点

- ・運動部活動における集団種目や文化活動におけるブラスバンド等、集団で行う活動が制限され、選択の機会が狭められるとともに児童生徒が切磋琢磨する機会が少ない。

(4) 学校運営面

○ 良い点

- ・学校と保護者や地域が一体となって児童生徒の教育に携わることができる。
- ・児童生徒に教員の目が行き届くことにより、児童生徒の特性等の把握が容易であり、きめ細やかな教育が実施できる。
- ・教職員は子どもたち一人ひとりと深くかかわることができる。

- ・子どもたちの顔が見えることによって地域の大人の見守り意識が高まる。

- ・地元との交流の機会が多く、学校が地域に支えられることで様々な体験をすることができる。

○ 問題点

- ・地域での協力がないと学校行事が活性化しない。

- ・教員一人当たりの分掌事務が多くなり、研修の参加機会などに支障が現れる。

- ・同一学年での教員数も少なく教科研究や教員相互の情報交換も難しく、学習指導における教員の切磋琢磨がしにくい状況となる。

イ 特に複式学級について出された意見をまとめると以下の通りです。

(1) 学習面

○ 良い点

- ・複式学級では、児童だけで学習課題に取り組む場面が生じるため、自学自習の学習態度が形成されやすい。

○ 問題点

- ・複式学級では、同じ教室で行われている他学年の授業内容が気になることが考えられる。教員、子どもの双方にとって授業進行が難しいと感じられる。

- ・複式学級の国語や算数などの教科は、限られた授業時間で複数学年の指導を行うため一人学習する時間が生じ、自学、自習するための訓練をしないと授業の目的を達成されにくい。

- ・複式学級ではどうしても授業の進捗は遅れる傾向にある。通常授業で不足する時間は補習授業により調整していく必要がある。

(2) 学校運営面

○ 問題点

- ・複式学級の場合、複式学級の指導経験者が少ない中、指導能力の高い教職員の確保が困難である。